平成 2 4年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)実績報告書(研究実績報告書)

1. 機 関 番 号	1 4 6 0 3	2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学
3. 研究種目名	新学術領域研究(研究領域提案型)	4. 研究期間 平成24年度~平成25年度
5. 課題番号	2 4 1 0 6 7 2 9	

6. 研究課題名 マイクロフローシステムを用いた有機光反応の革新的手法の開拓

7. 研究代表者

研 究 者 番 号	研究代表者名	所属 部局名	職名
	カキウチ キヨミ 垣内 喜代三	物質創成科学研究科	教授

8. 研究分担者

研	究	者	番	号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職	名

9. 研究実績の概要

本研究では、CMOSインテリジェントセンサーを集積化したマイクロフローリアクターを作製するとともに、それを利用したオンタイム有機光反応システムを開発することを目的とし、それによる高速、高収率、高選択的な有機光反応の創成を目指している。本年度はマイクロフローシステムを様々な有機光反応へと適用するとともに、オンチップ偏光センサーの試作と改良を行った。有機光反応の検討については、マイクロフローリアクターとの詳細な比較検討を行った。マレイン酸とイソプロピルアルコールとの光付加環化反応においては、バッチリアクターとの詳細な比較検討を行った。マレイン酸とイソプロピルアルコールとの光付加環化反応においては、バッチリアクターに比べてマイクロリアクターとの「2+2]光環化付加反応においては、フローリアクターの外側に置いた光源から光を照射した場合、バッチリアクターに比べ反応時間は短縮できたものの、エネルギー効率においては劣る結果となった。以上の結果から、光源のエネルギーを無駄なく利用するマイクロフロー光反応システムを用いることが、エネルギー効率の優れた反応の達成には不可欠であることが明らかとなった。オンチップ偏光センサーの試作・改良においては、CMOS半導体集積回路技術による偏光計測センサーを利用したin situ不斉計測システムの構築を目打し、インライン型不斉計測デイスの小型化と計測機能の向上と超微細半導体プロセスの導入によるセンサー性能の向上を実施した。試作したセットアップでは目的のデータが得られず、計画の変更を余儀なくされた上に計測の不安定さが解消されない問題点が残されているものの、超微細半導体プロセスの導入により、6倍以上の偏光分解能が達成できた。

1	n	+	 7 —	ド

₍₁₎ マイクロ・ナノデバイス	(2) 有機光反応	(3) マイクロリアクター	₍₄₎ キャピラリーリアクター
(5) オンタイム計測	(6) CMOS半導体集積回路技術		(8) 光環化付加反応
		_	_

11. 現在までの達成度

(区分)(2)	おおむね順調に進展して	いる。
---------	-------------	-----

(理由)

これまでにマイクロリアクター、特にキャピラリーリアクターを利用することで、高効率な光反応が達成可能であることや、優れたエネルギー効率を示す光照射方法について明らかにすることができている。オンライン計測技術については、途中計画の変更を要した上に、計測の不安定さが解消されない問題点が残されているものの、改良型セットアップを利用することで測定の実施が可能となり、以前よりも偏光分解能の向上も達成できている。以上より、おおむね順調に進展していると判断した。

12. 今後の研究の推進方策

(今後の推進方策)

機光反応の効率化については、マイクロリアクター、キャピラリーリアクターを用いて、さらに多様な有機光反応、例えば不斉Pate rno-Buchi反応などを検討し、マイクロリアクターを利用する光反応に関する分子設計に対する指針を得ることを目指す。 オンライン計測技術については、上述の試作から得られた知見を基に、計測機能の安定化を第一に解決し、目標である不斉光反応の オンライン計測の達成を目指す。

13.研究発表(平成24年度の研究成果)

〔雑誌論文〕計(8)件 うち査読付論文 計(8)件

(4) E BO HI (-)									
著 者 名			論	て 標 見	題				
	Diastereoselective Flow Microcapillary		cloaddition of a	chiral Cyclo	hexe	none	with	Ethy	lene in a Continuous
雑誌名		査読の有無	巻			発行	行年		最初と最後の頁
Journal of Flow Chemistry		有	2		2	0	1	2	73-76
掲載論文の[OOI (デジタルオフ	ブジェクト識別]子)						
10.1556/JFC-D-12-00005									

著 者 名			論 文 村	# #	夏			
寺尾 公維	Diastereodifferentiating [2+2] Photocycloaddition of Chiral Cyclohexenone Carboxylates with Cyclopentene by a Microreactor						oxylates with	
雑誌名		査読の有無	巻		ğ	発行年		最初と最後の頁
Journal of Photochemistry and Photobiology A: Chemistry		有	242		2	0 1	2	13-19
掲載論文の	DOI(デジタルオフ	ブジェクト識別	 子)		=			
10.1016/j.jphotochem.2012.05.021								

著 者 名		論 文 標 題										
会田 森	Microflow photoch acid as a model re		actor compari	ison stu	idy usiną	g the photochemica	Il synthesis of terebic					
雑誌名	•	査読の有無		巻		発行年	最初と最後の頁					
Tetrahedron Letters		有	:	53		2 0 1 2	5578-5581					
掲載	ば論文のDOI(デジタルオ∶	ブジェクト識別]子)									
10.1016/j.tetlet.2012.07.143												

著 者 名			論文標	題								
Inga Inhulsen	Highly diastereodiffe cyclohexenone carbo	erentiating and r oxylates	egioselective [2+2]-pho	otoreaction	is usin	g met	hoxyaromatic menthyl					
雑誌 名		査読の有無	 巻	沿	衍年		最初と最後の頁					
非 □心 □	-	直がり日無	- 2	7	31 1 ++		取例に取扱の兵					
Tetrahedron		有	69	2 0) 1]]]]	782-790					
K	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	ジェクト識別子)									
10.1016/j.tet.2012.10.074												
著 者 名	Diastereoselective [論文標題										
	Using Surfactants											
雑誌名	j	査読の有無	巻	発	衍年		最初と最後の頁					
Molecules		有	18	2 0] 1]]]	1626-1637					
ļ.		ジェクト識別子)									
10.3390/molecules18021626												
著 者 名			論文標	題								
徳田 崇	CMOS sensor-based chirality monitoring	d miniaturized in	-line dual-functional op	ptical anal	yser fo	r high	n-speed, in situ					
雑誌名	<u>.</u>	査読の有無	巻	発	行年		最初と最後の頁					
Sensors and Actuators B:Chemical		有	176	2 0) 1]]]]	1032-1037					
	喝載論文のDOI(デジタルオブ	ジェクト識別子)									
10.1016/j.snb.2012.09.042												

著 者 名			論	文	標	題				
杉浦 遼	A novel thiochro	A novel thiochromone-type photolabile protecting group for carbonyl compounds								
雑誌名	•	査読の有無		巻			発征	亍年		最初と最後の頁
							i	i	i	
Tetrahedron		有		69		2		 1	3	3984-3990
Tetranearen		F		00			Ĭ	i	i	0004 0000
							<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	
	掲載論文のDOI(デジタルオ	ブジェクト識別	子)							
10.1016/j.tet.2013.03.022										
著 者 名			論	文		題				
 	Image sensor nive	al with an chin h	igh avtinction	n ratio	nolariza	r hac	0d 01	0 65.	nm c	tandard CMOS

	著 者 名		論 文 標 題									
笹川 清隆		Image sensor pixi technology	el with on-chip h	nigh extinction ratio polariz	er based on 65-nm s	tandard CMOS						
	雑誌名	•	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁						
Optics Express			有	21	2 0 1 3	11132-11140						
	掲載	載論文のDOI(デジタルオ	ブジェクト識別	J子)								
10.1364/OE.21.011132												

〔学会発表〕 計(17)件 うち招待講演 計(1)件

(子云光衣) 司(「/)什 つりが付神() 司(「)什		
発 表 者 名		発 表 標 題
笹川 清隆	On-chip metal wire grid pola	arizer for CMOS image sensor based on 65-nm technology
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
Conference on Lasers and Electro-Optics (CLEO 2012)	2012年05月06日 ~ 2012 年05月11日	San Jose Convention Center (San Jose, USA)

発 表 者 名		発	表	標	題
若間 範充	A polarization analyzing CM	IOS image sensor v	with me	tal wire	e grid in 65-nm standard CMOS technology
学 会 等 名	発表年月日			多	発表場所
International Meeting for Future of Electron Devices	2012年05月09日 ~ 2012 年05月11日	関西大学(吹田	市山手	三田丁)	

7% ± + 0		- //A			
発表者名 若間範充	信半分析CMOSイメーージャン	発 表 標 題 「偏光分析CMOSイメージセンサによるマイクロ化学システム用in situ不斉計測デバイス			
石 IU 製化	IMPルガヤIUMUS4アークビン	クタによるマイクロ化子システム舟III Situ小月 ii 刷ナハイス			
学 会 等 名	発表年月日	発表場所			
バイオ・マイクロシステム研究会		京都大学百周年時計台記念館(京都市左京区)			
発 表 者 名		発表標題			
寺尾 公維	フローリアクター中における。	立体選択的光反応のオンライン観察システム開発			
学 会 等 名		発表場所			
第33回光化学若手の会		草津セミナーハウス(群馬県吾妻郡草津町)			
発 表 者 名		• 発 表 標 題			
寺尾 公維	不斉光反応の制御を指向し				
		発表場所			
2012年光化学討論会		東京工業大学大岡山キャンパス(東京都目黒区)			
発 表 者 名		発表標題			
光 衣 白 石 若間 範充	 65 pm標準CMOSプロセスを	光 衣 悰 超 :用いた偏光分析CMOSイメージセンサの消光比評価			
学 会 等 名		発表場所			
字 会 等 名	発表年月日 2012年09月11日~2012	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##			
PUNIA/エテム于INIA/X A	年09月14日				

		2 版
発表者名		発 表 標 題
若問 範充	Real-time multifunctional or microchemical systems	otical analyzer based on polarization-analyzing CMOS image sensor for
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
2012 International Conference on Solid State Devices and Materials(SSDM2012)		京都国際会議場(京都市左京区)
発表者名		*************************************
寺尾 公維	マイクロリアクターとCMOSイ	メージセンサ技術の融合による光反応の集積化
学会等名	発表年月日	発表場所
第2回CSJ化学フェスタ2012		東京工業大学大岡山キャンパス(東京都目黒区)
発表者名	T	発 表 標 題
笹川 清隆	Dual-Layer Metal-Grid Pola	arizer for Polarization Image Sensor in 65-nm CMOS Technology
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
IEEE Sensors 2012	2012年10月28日 ~ 2012 年10月31日	Taipei International Convention Center (Taipei, Taiwan)
発表者名	1	
寺尾 公維	Building the Integrated Asyr Monitoring Unit	mmetric Photoreaction System Using a Microcapillary Reactor and a New
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
The 12th International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry (IKCOC-12)		京都リーガルロイヤルホテル(京都市下京区)

発 表 者 名	発 表 標 題				
寺尾 公維	Building the Integrated Asymmetric Photoreaction System Using a Photo Micro Reactor and a New Monitoring System				
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所			
International Symposium on Green Photonics for Efficient Photon- Harvesting Materials and Reactions	2012年11月16日	奈良先端大ミレニアムホール(生駒市高山町)			
発 表 者 名		· 			
西山靖浩	High-Efficient Asymmetric	Photoreaction by Micro-flow Reactor			
学 会 等 名	発表年月日	発表場所			
2012 GIST-NCTU-NAIST Joint Symposium on Interdisciplinary Nan science and Beyond(招待講演)	2012年11月18日~2012 年11月21日	National Chiao Tung University (Hsinchu, Taiwan)			
発 表 者 名		発表標題			
若間 範充	In situ chiral analysis device system	e using CMOS polarization analyzing image sensor for a microchemical			
学 会 等 名	発表年月日	発表場所			
2012 GIST-NAIST-NCTU Joint Symposium on Interdisciplinary Nanoscience & Beyond	2012年11月18日~2012 年11月21日	National Chiao Tung University (Hsinchu, Taiwan)			
以 = セ ク					
発表者名	A polarization analyzing Ch				
若間 範充	for in-situ chiral analysis	MOS image sensor with metal wire grid in 65-nm standard CMOS technology			
学 会 等 名	発表年月日	発表場所			
Seventh International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics (M&BE7)		福岡国際会議場(福岡市博多区)			

西山 靖浩	発表者名							
西山 靖浩	光 化 日 日		発 表 標 題					
	西山 靖浩		マイクロリアクターを用いた高濃度溶液中でのジアステレオ区別[2+2]光付加環化反応					
	学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 舟					
日本化学会第93春季年会		2013年03月22日~2013 年03月26日	立命館大学びわこ・〈さつキャンパス(草〉	聿市野路東)				
		+03/320Д						
	7% ± +/ /2		7V + 1# FF					
	発表者名	Application Demonstration	発表標題 Of Polarization-Analyzing CMOS Image Senso	or and Performance				
1本四 赤		Improvement Using 65 nm S	Standard CMOS Process	or and Feriormance				
1								
	学会等名	発表年月日	発 表 場 所	Ť				
2013 International Image S	ensor Workshop (IISW2013)	2013年06月12日~2013	Snowbird Ski & Summer Resort (Utah, U	SA)				
		年06月16日						
	発 表 者 名		発 表 標 題					
笹川 清隆		先端集積回路プロセスによ	る偏光子搭載イメージセンサ					
			発表場 系	Ť				
光応用電磁界計測(PEM)印		2013年08月07日	下阪大学豊中キャンパス(豊中市待兼山町)					
〔図書〕計(0)件								
	著 者 名		出 版 社					
	書 名		発行年	総ページ数				
			光1]年	がごハーン教				

14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

[出願] 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

[取得] 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	1
					1

15 備老

奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 http://mswebs.naist.jp/LABs/kakiuchi/index-j.html	反応制御科学研究室
,	